

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(非連結)
 上場会社名 マナック株式会社
 (URL <http://www.manac-inc.co.jp/>)

平成16年1月20日
 上場取引所 東
 本社所在都道府県

コード番号 4364
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 藤原 正憲
 問合せ先責任者 役職名 取締役経営管理本部長
 氏名 佐藤 泰夫

広島県
 TEL (084) 926-0433

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有・無

2. 平成16年3月期 第3四半期業績の概況(平成15年4月1日~平成15年12月31日)

(1) 売上高(又はこれに相当する事項)

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	平成16年3月期第3四半期	対前年同期増減率	平成15年3月期第3四半期	参考前期(通期)
売上高	百万円 4,615	% -	百万円 -	百万円 7,123

(注) 当第1四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期業績及び増減率につきましては記載しておりません。

(品目別売上高)

(単位:千円)

主要品目	平成16年3月期第3四半期		参考前期(通期)	
	金額	構成比	金額	構成比
難燃剤	1,424,050	30.9%	2,154,404	30.3%
無機臭化物	441,321	9.6	591,695	8.3
有機薬品	1,643,571	35.6	2,885,152	40.5
一般無機物	1,091,221	23.6	1,476,002	20.7
その他	15,261	0.3	15,846	0.2
合計	4,615,425	100.0	7,123,101	100.0

[売上高又はこれに相当する事項に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、景況感に回復の兆しはあるものの、継続するデフレや雇用情勢、所得環境は依然厳しい状況で推移したことに加え、社会保障費負担増などによる先行き不安感から個人消費は低迷を続け、依然として厳しい状況で推移しました。

化学業界におきましても、デフレ経済の影響による製品価格の下落や国内外の競合各社の競争激化により厳しい事業環境が続きました。

当社においても、主力のプラスチック用難燃剤や有機薬品において、業界そのものの低調及び販売価格の下落の影響を受け、厳しい販売状況となりました。こうした中において、一般無機物の医薬向け関連分野の販売は堅調に推移し、プラスチック用難燃剤の需要にも持ち直しの動きが見られております。又、有機薬品の情報関連分野では、各社とも次世代製品の開発に注力しており、市場の伸びと好転が予想されます。

当社は、平成15年度を起点とする中期経営計画をスタートし、既存事業の強化と新規事業の早期立上げを目指し、個々の課題に取り組んでいるところであります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当事項はありません。

(注) 当該四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

3. 平成16年3月期の業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
通 期	百万円 7,000	百万円 400	百万円 150	円 銭 17 81

[業績予想に関する定性的情報等]

当期の見通しは、前回予想(平成15年11月14日に発表した平成16年3月期の業績予想)通りに推移する
予定であり、変更はございません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々
な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。